

(4) 理解と交流の推進

基本的方向性

障害を「特別」なものとして捉えるのではなく、「同じ調布に暮らしている隣近所の人」という意識を市民に広げます。

年齢、性別、健康状態、障害の有無、価値観等、多様な市民がともに同じまちに暮らしているのだ、ということをも市民全体が共有し実感していける社会の構築をめざします。

障害のある方から地域社会に発信していく機会を拡充することで、障害のある方の社会参加を促進し、人々とのふれあい・交流の中で、地域の障害理解を促進します。

事業計画

市民同士の交流機会の充実

福祉団体の出店やステージイベント、福祉にふれる体験コーナー等による「福祉まつり」の開催や、市立施設において、スペースの地域住民への貸し出し、施設行事、地域イベントへの参加等を通じて、地域住民との交流及び障害者施設への理解促進を図ります。

福祉まつり

社会福祉協議会

事業概要

福祉団体による出店やステージイベント、福祉にふれる体験コーナー等による「福祉まつり」を毎年開催し、地域の福祉団体のPRや地域交流を行っています。

今後の方向・目標

継続して開催するとともに、より地域の交流や障害理解が進められるよう、イベント内容の検討を行っていきます。

市立障害者施設を活用した地域交流（調布市知的障害者援護施設等の共通管理）

障害福祉課

事業概要

希望の家、なごみ、まなびや、ちょうふだぞう等の市立施設において、スペースの地域住民への貸し出し、施設行事、地域イベントへの参加等を通じて、地域住民との交流及び障害者施設への理解促進を積極的に図っています。

今後の方向・目標

継続します。

障害についての理解の推進

こころの健康支援センターで、定期的に精神保健福祉に関する講演会を行い、市民のメンタルヘルスの向上と精神障害に関する普及啓発を図ります。

また、障害当事者とボランティアが学校や職場に出向き、実体験を話すなどの交流の機会や、障害者疑似体験を行うことにより障害のある方の不自由さを参加者が体験するなど、障害理解を深めます。

精神保健福祉に関する普及啓発（再掲）

障害福祉課

事業概要

こころの健康支援センターで定期的に精神保健福祉に関する講演会を開催しています。

今後の方向・目標

精神疾患の理解を深め、市民のメンタルヘルスの向上に寄与するとともに、精神疾患の再発を予防し、安定した地域生活を送れるよう、話題のテーマを取り入れながら研修や講演会を開催します。

障害者疑似体験事業

社会福祉協議会

事業概要

学校や各団体からの依頼を受けて障害当事者とボランティアが出向き、実体験を話すなどの交流の機会をもつ事業を行います。また、障害者疑似体験を行うことにより障害者の不自由さを体験するなど、障害者に対する理解を深めます。

今後の方向・目標

体験を通して、身の回りで自分にできることについて気づき、一人ひとりが、他者への思いやりや、地域への関心を持つことを目標に、誰もが住みやすい街づくりについて考える機会を提供します。

障害者地域活動支援センター事業（再掲）

障害福祉課

事業概要

障害者への創作的活動や生産活動の機会の提供，地域との交流促進，障害者への相談や助言，支援。関係機関との連絡調整，ボランティア育成支援，障害者に対する理解促進のための普及活動と啓発活動などを行うことで，障害者等が地域において自立して日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援し，その促進を図ります。

今後の方向・目標

障害者の日中活動の場を確保するだけでなく，相談や助言といったきめ細かい生活支援に対する需要は高く，今後もますます必要性は高まると思われれます。地域の障害のある市民の要望や意見に耳を傾けながら，実情に合わせて事業の拡充を図ります。

障害者地域活動支援センター事業（再掲）

障害福祉課

事業概要

知的障害者を地域で支えていく体制づくりを目的としています。地域への障害理解や相談機関の普及啓発，アウトリーチ支援，地域のネットワーク体制の整備，また，緊急相談窓口を設置し，知的障害者，発達障害者の緊急時に必要に応じてショートステイやヘルパー派遣などを行います。

今後の方向・目標

障害者が地域で安心して生活できるために，さまざまな視点から地域で支えていく仕組みを検討していきます。

人権に関する教育・啓発の促進

市民相談課

事業概要

基本的人権及び自由を尊重し確保することを目的として，日常生活における人権侵害問題などに関する相談業務を実施しています。

今後の方向・目標

継続します